





だが今日、労働者と生産者の闘争は、まもなくわれわれの組織によつて結合される。この二つが労働者のお互を押しあけてきたのである。

③ われわれの活動の諸問題

今日の斗争の段階は、労働者階級だけでこの大衆の自然發生的闘争がはじまったところである。そしてこの闘争が労働者と組織闘争を結合しうる戦術的方針の組織として根づかすはじめてのことである。

昨年の関西大会以降三十月のわれわれの活動は、多くの困難を含みつつも、大衆との結合をすすめることにはたがわれわれは、この間の活動と、基本的には大衆の自然發生的に交りあつてきているといつことを確認しておかなければならぬ。そしてその立ちあがり、体制上の問題があることをみかしてはならぬ。われわれは、

① 多くに体制的組織とあつた活動がある。  
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

かへてこの労働者は、そのとりこみの過程でわれわれの組織上の欠陥を暴露し、大衆の自然發生的的組織に大向と手を、新たな地平を切り開くものでなければならぬ。二つの闘争をいかに地区委員会が機能を最大限發揮するべきか、二つの斗争のなかで新たな活動分野をひらくべきかならぬ。

② 3.7 集會実行プラン

- (一) 3.7 集會準備
  - 名簿 各地区委員会、フレイク係務所
  - 場所 市立労働館 (築地橋株の宮)
  - 日時 三月七日(木) 六時より
  - 内容 映画 映画

演説 基調報告 田原  
反戦 / 全労連 / 三重県  
労働戦線 —— 深倉義明

(三) 3.7 集會参加料別

- ヒラ ヤーカース一枚 (2日25日取布)
  - ボスター 五枚 枚 (4、5、6連日取布)
  - ステッカー 一五枚の枚
- その他各地区委員会で作成すること。

(四) 3.7 集會組織目標 (千名)

京都市	50	阪神	50	北	50	堺	40
大塚	30	津	20	吹上	20	西	25
天童	30	愛媛	20	和歌山	10	高松	50
学生	300						
京都	80	兵庫	30	和歌山	20	大阪	100
高校生	100						

以上七〇〇名の組織目標を軸に、拠点組織へのシラ

(五) 集會財政

交際費	10,000,-
印刷代	30,000,-
毛筆	20,000,-
映画	20,000,-
合計	80,000,-

収入は会場とをもちまひながら、赤字の危険性をはらんでいる。

④ ケットは半數現金と引きかきとする。最後の回収もきりんとする。二つづきは個人負担とする。

⑤ 宣伝費、ボスターとステッカーを有料にする。

ボスター 一枚 三〇円  
ステッカー 三枚 一〇円

(六) 集會実行委員会

次のメンバーの実行委員会を構成する。  
 代表 野崎 攻郎 高見次 梅田 良本  
 書記 野崎 十字正教  
 (一) 各地区委、細記は各地区にオムニバスを作成し、オムニバスのりかかると。

(七) 火花の発刊について

- No. 23 中央委員会報告 24日発行
- No. 24 3.7 集會基調報告 27日発行
- No. 25 同盟七〇大会の意義と任務

